

Dial Totem

ユーザースガイド



メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 Dial Totem	4
2 Dial Totem の機能	5
3 必要なソフトウェア	6
4 ユーザー操作	7
Dial Totem の使い方.....	7
最上位メニューへのアクセス.....	7
5 Dial Totem のカスタマイズ	8
6 Dial Totem のメンテナンス	10

Dial Totem

Dial Totem は、画面上で使用する入力デバイスです。Dell Canvas 上で、システムまたはアプリケーション固有の操作をコントロールできます。利き手でペンやタッチを使用しながら、反対の手でトーテムを操作できます。トーテムは、**Windows のホイール設定**ページでカスタマイズできます。

Dial Totem の機能

Dial Totem にはボタンが 1 つ搭載されています [1]。



ボタンを長押しまたはシングルクリックすると、Dell Canvas の画面を操作できます [1]。これらの操作の詳細については、「[ユーザー操作](#)」を参照してください。



必要なソフトウェア

Dial Totem は、Microsoft Windows 10 バージョン 1607 (Anniversary Update) 以降のみがであれば機能します。

Microsoft ストアから他のアプリケーションをダウンロードして、Dial Totem のユーザーエクスペリエンスを強化することもできます。

ユーザー操作

Dial Totem は表にリストされているジェスチャをサポートします。

表 1. Dial Totem のユーザー操作

ユーザーアクション	説明
長押し	Dial Totem のメインメニューをアクティブにして表示します。このジェスチャに関連するアプリケーションの機能はありません。
回転	Dial Totem の主な機能は、回転操作でコントロールできるように設計されており、回転することで値を変更したり、メニュー項目をスクロールしたりできます。このデバイスは、右回りと左回りのどちらにも回転できます。
シングルクリック	Dial Totem のクリックは、マウスの左ボタンのクリックとほぼ同じです。トーテムをクリックしてメニュー項目を選択できます。
持ち上げる — トーテムを画面から外す	持ち上げるとは、トーテムを画面から外すことを意味します。 <ul style="list-style-type: none"> マスターメニューがアクティブで何も選択されていない場合、メニューは、最後にトーテムが置かれていた場所に縮小表示されます。メニューを別の場所に移動するには、ホイールの中心をドラッグします。 選択が行われている場合、メニューはトーテムの周囲に表示されません。 選択が行われており、トーテムの周囲にサブレベルメニューが表示されている場合、サブレベルメニューは、最後に表示されていた場所に縮小表示されます。

Dial Totem の使い方

Dial Totem を使用すると、メニューの設定にアクセスして変更できます。Dial Totem は、Dell Canvas の画面のアクティブな領域で使用してください。Dial Totem には電子部品が使われていないので、画面から離して使用することはできません。画面上でも、ベゼル領域では使用できません。Dial Totem はタッチ操作で動作します。トーテムから指を離すとタッチ操作が中止され、トーテムのメニューが非表示になります。

最上位メニューへのアクセス

最上位メニューにアクセスするには、長押しのジェスチャを使用します。

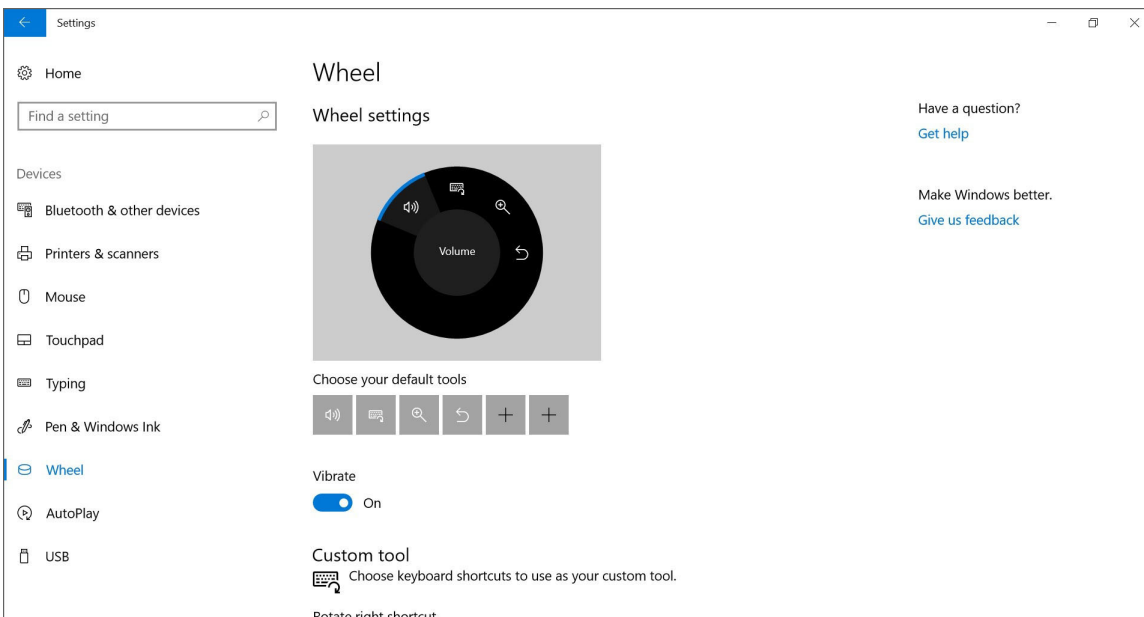
- 1 最上位メニューをアクティブにするには、Dell Canvas の画面のアクティブな領域でトーテムを長押しします。
- 2 最上位メニューが表示されたら、押していた指は離してかまいませんが、トーテムは画面上に置いたままにしてください。メニュー項目間の移動は、トーテムを左または右のいずれかに回します。
- 3 メニューの選択やサブメニューへの移動は、該当のオプションまたはサブメニューがハイライト表示されている状態でトーテムをクリックします。
- 4 サブメニュー内で選択可能な項目間を移動するには、続けてクリックします。トーテムを左右に回すと、メニューの選択を動的に変更できます。
- 5 もう一度長押しすると、メインメニューに戻ります。



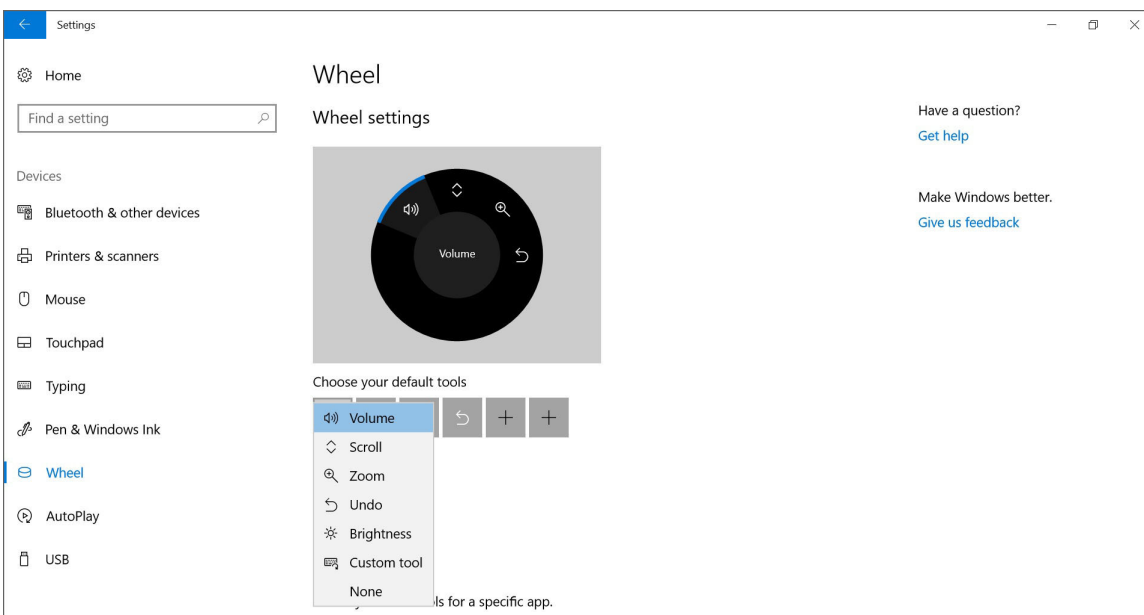
Dial Totem のカスタマイズ

Dial Totem は、Windows オペレーティングシステムと統合されており、内蔵の機能セットをデフォルトでサポートします。機能を使用できるかどうかは、ツールメニューがアクティブな状態でのシステムの状態およびコンテキストに依存します。たとえば、画面の輝度ツールは、ノートブックコンピュータなど、モニターが統合されたホストシステムに接続している場合にのみ表示されます。また、スクロールオプションは、スクロール機能をサポートするアクティブウィンドウを選択している場合にのみ表示されます。

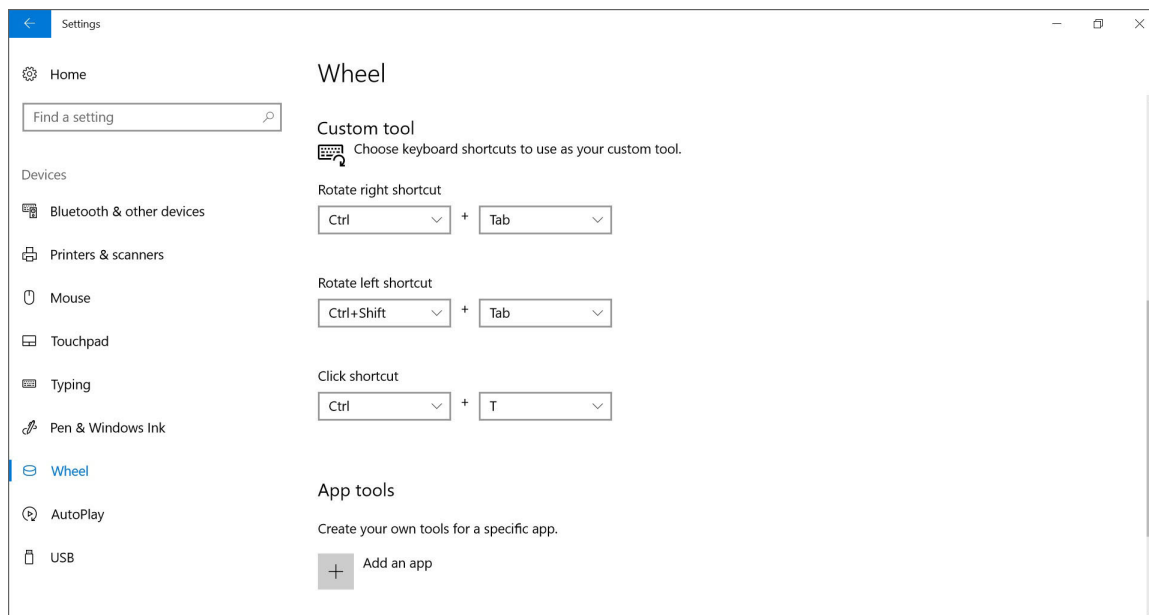
Dial Totem の設定をカスタマイズするには、Windows のコントロールパネルで、**設定 > デバイス > ホイール** の順に進みます。



デフォルトのツールリストから必要なツールを選択して、**ホイールの設定** に追加できます。

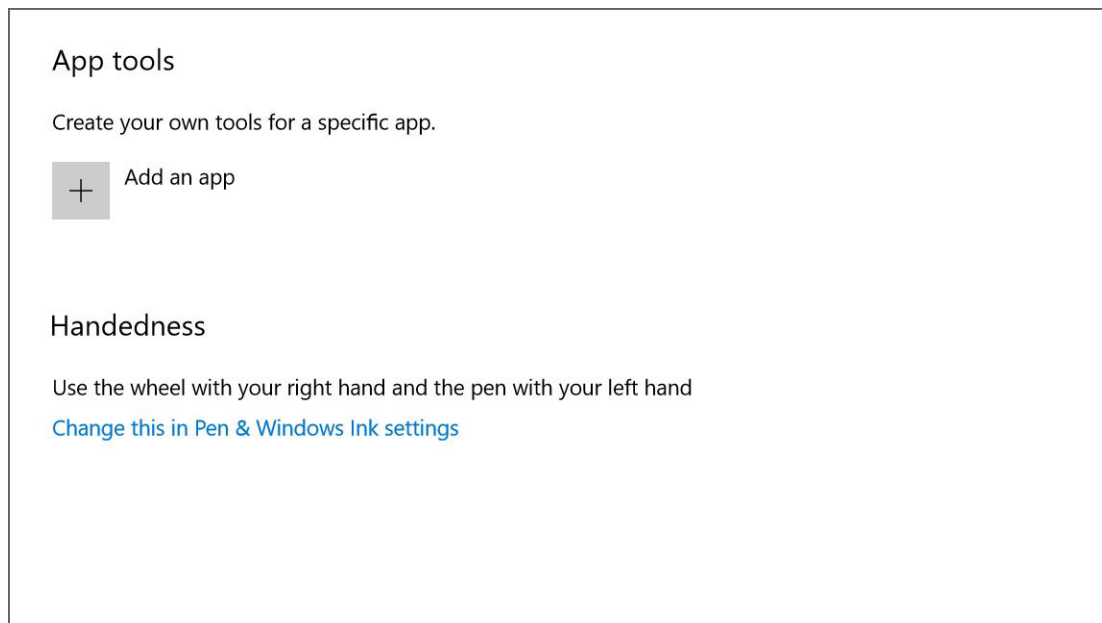


カスタム ツール オプションを使用すると、キーボードショートカットを右回転、左回転、およびボタンのクリックに設定できます。



アプリ ツール オプションを使用すると、特定のアプリケーションに固有のツールを追加して、そのアプリケーションウィンドウがアクティブなときに、カスタムツールをメニューで選択できるようになります。たとえば、メモ帳などのアプリケーションを追加できます。

きき手 オプションを使用すると、**ペンと Windows Ink の設定** で、ペンを使用する方の手を設定できます。ペンを使用する手を設定することで、反対側の手が自動的にトータムを使用する手に設定されます。たとえば、右手でペンを使用する場合、トータムは当然左手で使用することになり、この想定に基づいて偶発的なタッチが遮断されます。



Dial Totem のメンテナンス

Dial Totem の機能を適切に維持するため、必ず、次の一連の指示に従ってください。

- トーテムを、ベゼルからディスプレイ画面のアクティブな領域にスライドすることは避けてください。トーテムは、必ず持ち上げてから画面上に置くようにします。
- トーテムを使用していないとき、システムのスタートアップ時、またはスリープ状態からの再開時に、トーテムを画面上に置いたままにしないでください。
- トーテムは、必ず画面のアクティブな領域で使用してください。
- 非伝導性の素材をトーテムに被せることはしないでください。
- トーテムは、湿らせた布で定期的にクリーニングしてください。
- 画面の表面を傷つけないよう、トーテムに損傷が見つかった場合は交換品を注文してください。
- タッチやペンの対象がトーテムの近くにある場合は、トーテムを画面の別の領域に移動してください。